令和6年度千葉県医療審議会地域保健医療部会 開催結果

1 日時 令和7年1月14日（火）午後6時から6時35分まで

2 開催方法 オンライン

3 出席部会員

（部会員：総数26名中21名出席）

入江部会員、金江部会員、今井部会員、松本部会員、新井部会員、眞鍋部会員、
亀田部会員、小高部会員、澤井部会員、尾関部会員、永富部会員、渡邊部会員、
伊藤部会員、川名部会員、増渕部会員、諏訪部会員、藤澤部会員、関根部会員、
佐藤部会員、小川部会員、吉野部会員（名簿順）

4 会議次第

（1）開会

（2）健康福祉部保健医療担当部長挨拶

（3）議事

- ・ 部会長の選出について
- ・ 病床機能再編支援事業（単独支援給付金）について

（4）報告事項

- ・ 地域保健医療連携・地域医療構想調整会議について

（5）閉会

5 議事概要

（1）部会長の選出について

互選により部会長には千葉県医師会長の入江部会員が選出された。

（2）病床機能再編支援事業（単独支援給付金）について

○ 事務局説明

資料1により事務局から説明

○ 意見・質疑応答

なし

6 報告事項

地域保健医療連携・地域医療構想調整会議について

○ 事務局説明

資料2-1、2-2により事務局から説明

○ 意見・質疑応答

（部会員）

都市部と過疎地では全然違った様相を呈しているなので、それを一体的に考えることには無理がある。今回の診療報酬改定は実質上マイナス改定で、日本中の病院が苦しんでいる。また、地方の介護は大きな企業がやっているわけではなく、小さな介護施設や訪問看護ステーション、あるいは小規模多機能型居宅介護施設等が担っているが、これらの施設は破産寸前である。突然サービスがなくなることが現実には起きている。地域は高齢者ばかり増えて疲弊しており、医療・介護提供者の志は高いが現実的にはやっていけないということが始まっている。

国の方針も大事だが、本当にその地域をどうするかを考えるのであれば、現実にあった取組を県と一緒に協議していかないと社会保障全体が崩壊すると感じている。

(部会員)

(資料2-2にある) 1月25日の講演会については、新たな地域医療構想でも示されている「介護と医療の連携」がテーマになっているので、多くの皆様の視聴をお願いしたい。新たな地域医療構想については勉強中だが、診療所に対しても重要な機能や役割を果たすよう求められている。新たな地域医療構想を現場の実態に合わせたものにするために、今こそ現場の意見を行政側に伝えていかなければならないと考えている。

7 閉会 午後6時35分